

国 語 解 答 例

問一

- | | | | | |
|---------|--------|-------|--------|-------|
| ① せいじゃく | ② けんそう | ③ 乏しい | ④ そうぐう | ⑤ 排除 |
| ⑥ 損なわれ | ⑦ さぎ | ⑧ 隔たり | ⑨ 活躍 | ⑩ けねん |
| ⑪ 掲載 | ⑫ もほう | ⑬ 本性 | ⑭ けつじょ | |

問二 A しかし B そして C それにしても D しかも E だからこそ、

問三 (a) ○ (b) × (c) ○ (d) ○ (e) ×

問四

ろう児について「聞こえないままではいけない」「聞こえる人に少しでも近づけよう」という考えが浸透していたから。(54 字)

・「聞こえないままがよくない状態である」、「考えが浸透」といった表現が入っていることを正答の条件とする。

問五

教師の声が聴き取れず、内容を理解できないまま読唇や発音の作業をさせられ、手話は禁止された。また、先生の言っていることも、自分の言っていることが通じているのかもわからない状態が続いた。

(91 字)

・「手話が禁止された」、「教師や自分の言っていることが」わからない」といった表現が入っていることを正答の条件とする。

問六

筆者がギャロデット大学で「言語障害者」となった経験は、手話の本質を考える上で重要な経験だと思う。日本では長年、手話に対する偏見のために、ろう児から言語を奪い、可能性を制限してきた。しかし、手話は豊かな表現力を持つ一つの言語であり、ろう児の成長と自己表現に欠かせないものだ。明晴学園の取り組みが示すように、手話を中心とした教育環境をつくることが、これからのろう教育には必要だと思う。

(191 字)

- ・「言語障害者」、「偏見」の二つの語句が用いられている点。
- ・表記、字数（適切であるか）
- ・内容（文章で表現されている内容についてよく理解し、自分の問題として考えているかどうか）